

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都府立丹波自然運動公園 京都トレーニングセンター(新築)	階数	地上2F
建設地	京都府船井郡京丹波町曾根地内	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	300 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2015年1月9日
敷地面積	381,167 m ²	作成者	堀 桜子
建築面積	2,010 m ²	確認日	2015年2月26日
延床面積	4,568 m ²	確認者	内田清次



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.8		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.8		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
LED照明や熱線センサーによる節水・自動水栓等による節水・太陽光パネルの設置により、環境配慮に努めている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
カーテン・庇により、グレアを制御している。	自動水栓を採用している。非常用発電設備を備えている。	外構緑化を行っている。ベンチ・テラスを設置している。防犯カメラを設置している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光パネルを設置している。Low-EガラスやLED照明の採用をしている。	自動水栓に加え、節水便器を採用している。再生クラッシュラン・再生アスファルトを採用している。持続可能な森林から産出された木材の比率が50%以上である。躯体+軽鉄+仕上材のデティールで、OAフローを採用している。	適切な量の駐車スペースの確保をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される